

Vol.4
2013 January

みんなの未来を守る健康診断

けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会 情報誌



Vol.4 CONTENTS

Message 公益財団法人 茨城県総合健診協会 会長 山口 巖

特集 新しい検査法(タンデムマス)による新生児マススクリーニングの実施

健やかな赤ちゃんの成長を願って

Information

- ・HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)の表記が変わります!
- ・茨城がん学会が開催されます!

Topics

- ・ひたちなか市保健推進員の方々が視察に来られました!
- ・複十字シール運動にご協力ありがとうございました。

各部門めぐり ~第3弾 職域健診課~

平成25年

新年のご挨拶

公益財団法人
茨城県総合健診協会

会長 山口 巖

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。また、日頃から当協会の事業運営に対し多くのご理解とご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

ご承知のとおり、当協会は公益財団法人へと転身を遂げてから、余すところ3ヵ月で1年を迎えることとなります。我々は新たな歩を踏み出すための心構えとして、ネーミングを制定しシンボルマークも新しいました。

また、健診事業につきましては、積年の課題である受診率向上を図るため、市町村や医療保険者と一体となって、これまで以上に有効と考えられる個別受診勧奨や休日夜間健診の推進及び各種情報提供を重点的に実施するとともに、健康プラザにおきましては、「シルバーハビリ体操指導士」の養成数が昨年11月で5千人を突破するなど、介護予防事業も併せて積極的に推進してまいりました。公益法人としての役割が、旧年中にどこまで達成されたかは、まだ途半ばではありますが、着実にその成果は現れてきているものと思っております。本年は、さらなる成果が発揮できるよう専心努力してまいります。

このような状況の中、がん検診をめぐる画期的な転換期を迎えようとしています。特に子宮頸癌、肝臓癌及び胃癌の発生とウイルスや細菌感染との関係が解明されたことにより、新たな診断手法が確立しつつあります。なかでも子宮頸癌の発症原因であるヒトパピローマウイルス（HPV）については、世界中で使われ始めた子宮頸癌予防（HPV）ワクチンと、従来の細胞診検査に加えHPV検査を併用した検診システムに注目が集まってきており、これからの検診の在り方自体も大きく変わろうとしています。

このことは現在、国においても、「がん検診のあり方に関する検討会」を設置し、国内外の知見を収集のうえ、科学的根拠のあるがん検診の方法等について検討が行われています。

本年は、より節目の年として「第二期特定健康診査・特定保健指導実施計画」や県が策定する「総合がん対策推進計画第三次計画」の開始年度となっております。新たな年を迎え、時代の変化に臆することなく、自らの責務と役割を認識しながら、そういった社会の動きにしっかりと対応していけるような専門家集団を作り上げる努力を続けてまいります。それによって県民の皆様の健康寿命も向上すると考えておりますので、関係各位におかれましては、引き続き当協会へのご支援を賜いますようお願い申し上げます。

本年が、皆様方にとりまして最良の二年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新しい検査法(タンデムマス)による
 新生児マス・スクリーニングの実施

健やかな赤ちゃんの成長を願って

はじめに

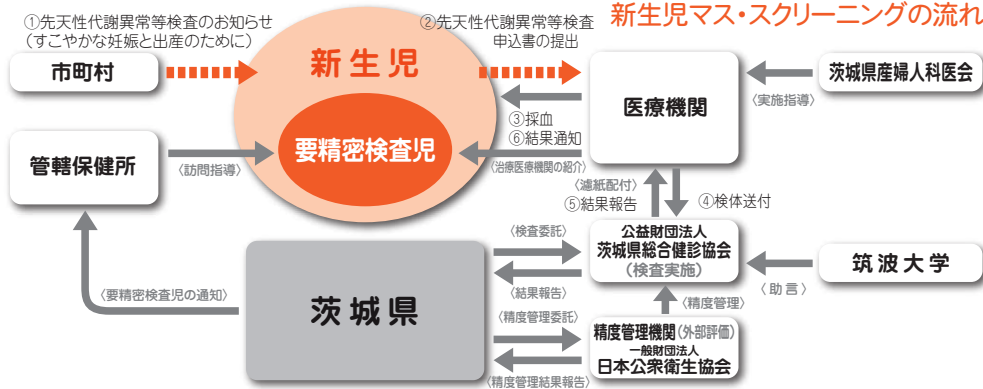
ほぼ全員の赤ちゃんが、「新生児マススクリーニング(先天性代謝異常等検査)」という検査を生まれて5日目頃に受けています。この検査の目的は、治療可能な病気を発病する前に見つけて治療を始め、赤ちゃんの障害を予防することであり、昭和52年より開始され、現在では6疾患を対象に行われている大切な検査です。検査費用は公費負担で行われ、全国どこで生まれた赤ちゃんでも、ほぼ均一の検査が受けられる体制が整備されています。

当協会は、茨城県内の医療機関で生まれた赤ちゃんの検査を手に担っており、本年4月からは現行の新生児マススクリーニングに、新しい検査技術(タンデムマス法)を導入することが決まっています。そこで今回は、大きく変貌するその検査内容等について紹介いたします。

検査方法

「新生児マススクリーニング」の「マス」は「集団」を意味し、スクリー

新生児マス・スクリーニングの流れ



「スクリーニング」とは「ふるい分け」という意味があります。ここでいうスクリーニング検査は、正常な赤ちゃんの中から病気の可能性がある赤ちゃんを「拾い上げる」検査であり、「陽性」という結果通知であっても、病気が決まったわけではありません。

検査するには、まず医療機関において赤ちゃんの踵(かかと)から微量の血液を採取します。採取する際は赤ちゃんへの負担を軽減するため、通常の注射器などとは異なる専用の微量採血用穿刺器具を使って、踵を少しだけ傷つけて、検査用の特別な濾紙(ろし)に染み込ませます。この濾紙には4か所、直径約1cmの円が印刷されていて、4つの円に對し血液を十分に染み渡らせ自然乾燥させます。

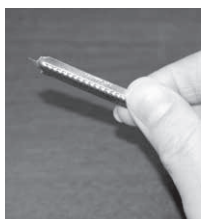
その後は、県内の各医療機関から当協会宛にこの濾紙が郵送で送られてきますので、濾紙に含まれる物質量を測定し、病気がないかどうかを調べます。



赤ちゃんの踵(かかと)から採取



検査用濾紙(ろし)



微量採血用穿刺器具

新しい検査法(タンデムマス・スクリーニング)とは

新生児マススクリーニングが始まってから約30年が経ち、新たにタンデムマス法という検査技術が導入されつつあります。タンデムマス法は1990年代に米国で開発され、すでに欧米諸国では広く実施されています。タンデムマス法という新しい検査を導入すると、従来の方法では測定ができなかった物質を測定して、一度に16種類の病気について検査できることになり、これからの新生児マススクリーニングでは、一部従来法が残る3疾患と併せ19疾患の病気を検査することが出来ます。この検査は、現行の新生児スクリーニング検査と同じ濾紙を用いることが可能なため、赤ちゃんへの負担は増えません。



導入状況

厚生労働省は平成23年3月、実施主体である都道府県などに対し、タンデムマス法を用いた新生児マススクリーニング検査の積極的な実施を促す通知を出しました。このことにより、急速にタンデムマス法の導入に向けた検討が進んでおり、全国の一部自治体では、すでにタンデムマス法が導入され、多疾患を対象に検査を実施しています。また、導入を前提とした試験運用も各地で行われています。

当協会においても、早期導入に向け県との間で協議を重ねてきました。昨年5月に県が設置する「タンデムマス法の導入のための検討会」が発足し、昨年10月からは筑波大学及び県立こども病院の協力のもと、当協会において試験運用を始め、本格的導入を前に万全な検査体制の準備を進めています。

タンデムマス法で見つかる病気

タンデムマス法は1回の検査でたくさんさんの病気を検査できる事が特徴ですが、発見できる病気は、アミノ酸代謝異常症、有機酸代謝異常症、脂肪酸代謝異常症という3つのグループに分ける事ができます。

しかし、現時点でのタンデムマス法では、発見可能なすべての病気を対象とはしていません。対象とするのは検出感度に優れ、治療効果も期待できる16種類としており、その他の検査対象としていない病気については、対象の可否について検討が

これからの「新生児マス・スクリーニング」

タンデムマス法で見つかる病気

アミノ酸代謝異常症

- フェニルケトン尿症
- ホモシスチン尿症
- メーブルシロップ尿症
- シトルリン血症1型
- アルギニノコハク酸尿症
- △ 他3種類(非対象)

- 現行実施(従来法から変更)
- 検査追加対象疾患
- △ 現時点では検査非対象疾患

内分泌疾患

- 先天性甲状腺機能低下症
- 先天性副腎過形成症糖質代謝異常

糖質代謝異常症

- ガラクトース血症

*タンデムマス法では発見できないため従来法で検査を行う。

有機酸代謝異常症

- メチルマロン酸血症
- プロピオン酸血症
- イソ吉草酸血症
- メチルクロトニルグリシン尿症
- ヒドロキシメチルグルタル酸血症
- 複合カルボキシラーゼ欠損症
- グルタル酸血症1型
- △ 他1種類(非対象)

脂肪酸代謝異常症

- MCAD欠損症
- VLCAD欠損症
- 三頭酵素欠損症
- CPT1欠損症
- △ 他5種類(非対象)

進められています。

アミノ酸代謝異常症

食事から摂ったタンパク質は体に吸収されるときにアミノ酸になり、体の中で必要なものに変わります。アミノ酸代謝異常症の場合、体の中でアミノ酸を上手く分解できないために、特定のアミノ酸が体に蓄積して障害をもたらします。



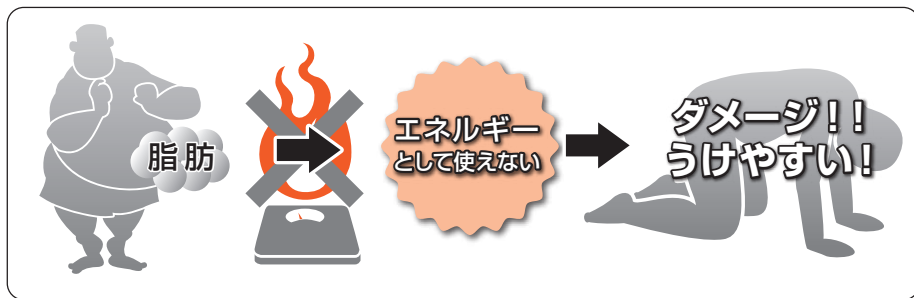
有機酸代謝異常症

たんぱく質は体の中でアミノ酸に分解され、アミノ酸が分解していく過程で出来るのが「有機酸」という酸性物質です。有機酸代謝異常症はこの有機酸が体内に溜まって障害を起こします。本来は弱酸性に保たれている人間の体が有機酸の増加によって、血液や体液が酸性になります。強い酸性に傾くことで様々な症状が出現し、なかには重大な症状を引き起こし死に至る場合もあります。また、発育発達の遅れを伴うこともあります。治

療は急性期には設備の整った病院で集中治療が必要です。慢性期には薬や食事療法を行います。

脂肪酸代謝異常症

食事からのエネルギーが足りなくなると...



人は食事による栄養素から必要なエネルギーを作り出しますが、絶食が続いたりすると体内の脂肪を分解してエネルギーを作ろうとします。しかし、脂肪酸代謝異常症の場合は脂肪を分解する過程に障害があるため、空腹時や運動時にエネルギー不足に陥ってしまい

ます。症状で多いのは、発熱や絶食が続いたときにおこる痙攣(けいれん)や意識低下、重症では突然死に至ることがあります。治療は急性期には入院治療が必要で、慢性期は食事治療が中心です。



おわりに

日本におけるこれまでの試験的タンデムマス法から明らかになったことは、タンデムマス法によって見つかる病気の頻度は、概ね10,000人に1人で、多くの病気は症状の出る前に見つかった子供たちの方が発病してから見つかった子供よりも、はるかに障害が少ないことが分かりました。

日本では1分間に2人の割合で赤ちゃんが誕生しています。新しい検査方法が導入されて、これまでに以上に多くの赤ちゃんを障害から救うことが可能となった今、これからも当協会は少子高齢化社会における次世代育成に寄与していくとともに、生まれてくる新たな命が健やかに成長することを願い、より一層の精度管理向上に努めてまいります。

HbA1c (ヘモグロビンエーワンシー)

の表記が変わります！



健診項目の一つであり、糖尿病の診断に使われる「ヘモグロビンA1c」の数値が、今年4月から約0.4%高く表示されます。糖尿に關してある程度知識がある方ならすでに理解している方もいれば、それほど詳しくない方にとってはよくわからないことだと思えます。そこで今回は健診の結果にどう影響があるのか、またどのような変更点なのか概説します。

まず糖尿病はどんな病気？

食べ物や飲み物を消化して体内で作られるブドウ糖は、血液によって全身に運ばれます。膵臓(すいぞう)から分泌される「インスリン」というホルモンの働きで、体の細胞に取り込まれ、身体活動に必要なエネルギー源となります。

ブドウ糖を唯二コントロールするインスリンの分泌が少なかつたり働きが弱かつたりすると、血液中の糖が常に多い状態になります。これが糖尿病です。このような状態を放置していると、血管を傷つけ、失明を招く網膜症、腎臓病、心臓病の原因となる動脈硬化などを引き起こすこととなります。

ヘモグロビンA1cとは

ヘモグロビンは全身に酸素を運ぶ血液成分で、鉄分とたんぱく質でできています。このヘモグロビンは、血液中のブドウ糖と結合するという性質を持っており、ブドウ糖と結合した物の一部分が、ヘモグロビンA1cと呼ばれています。つまり、血液検査の結果、このヘモグロビンA1cの値が高ければ高いほどたくさんブドウ糖が余分に血液中にあつて、ヘモグロビンと結合してしまつた、という訳です。

よく聞く「血糖値」とヘモグロビンA1cの違い？

血糖値というのは、血液中にブドウ糖がどのくらいあるかを示したものです。値は食事後により上がり、時間の経過とともに下がります。食前と食後では値が当然大きく異なるなど食事の影響を大きく受けます。

一方、ヘモグロビンA1cはこの程度のヘモグロビンが糖の影響を受けたかを見る指標で、過去1〜2カ月の平均的な血糖状態を見ることができまふ。血糖値は、あくまでも血液検査をした時の血糖状態になりますが、このヘモグロビンA1cは血

糖値よりも正確な血糖状態を教えてください。そのため、自分自身の血糖状態を知る上でこのヘモグロビンA1cという数値は重要になります。当協会ではこの血液検査の特徴に注目し、市町村が行う特定健診(メタボ健診)や事業主が行う定期健康診断等の血糖検査にヘモグロビンA1cを実施しています。



ヘモグロビンA1c値がなぜ4月から変更されるのか？

ヘモグロビンA1cは「JDS値」と「NGSP値」の2つがあります。JDS値は日本で決められた条件に従つて測つた値、NGSP値は主に米国で決められた条件に従つて測つた値で、日本のJDS値は

NGSP値とJDS値相互の換算方法

換算式

$$\begin{aligned} \text{NGSP値}(\%) &= 1.02 \times \text{JDS値}(\%) + 0.25\% \quad \dots \textcircled{1} \\ \text{JDS値}(\%) &= 0.98 \times \text{NGSP値}(\%) - 0.245\% \quad \dots \textcircled{2} \end{aligned}$$

換算式によらない換算手段

- ① NGSP値を求める

JDS値で4.9%以下の場合	NGSP値 = JDS値 + 0.3%
JDS値で5.0~9.9%の場合	NGSP値 = JDS値 + 0.4%
JDS値で10.0~14.9%の場合	NGSP値 = JDS値 + 0.5%
- ② JDS値を求める

NGSP値で5.2%以下の場合	JDS値 = NGSP値 - 0.3%
NGSP値で5.3~10.2%の場合	JDS値 = NGSP値 - 0.4%
NGSP値で10.3~15.2%の場合	JDS値 = NGSP値 - 0.5%

NGSP値に比較して約0.4%低い値になります。日本以外のほとんどの国で使われているのはNGSP値であり、事実上の国際標準となっています。

そこで日本も国際標準に合わせて、国際的な共同調査研究や治療開発などが行えるよう、日本糖尿病学会が中心となつて、昨年4月より日常診療で新しいヘモグロビンA1c(NGSP値)の使用を推奨したのです。

しかし、特定健診(メタボ健診)や事業主健診ではシステム変更に時間がかかるため、混乱を避け、平成24年度はJDS値(現行値)の表記のままとしています。が、厚生労働省は昨年10月に、平成25年4月1日以降に行われる健康診断すべてに「NGSP値」を適用することを決定しました。

健康診断の結果票の見方(注意点)

- 注意点1** 平成25年3月31日までに受診された結果については、従来どおり「JDS値」を用いた結果報告となっています。
- 注意点2** 世界標準化によって、決して基準値が甘くなるわけではなく、当然基準値も変更になります。

区分	改定後(NGSP値)	改定前(JDS値)
特定保健指導レベル判定値	5.6%以上	5.2%以上
受診勧奨判定値	6.5%以上	6.1%以上
メタボリックシンドローム判定値	6.0%以上	5.5%以上

※ 空腹時血糖値の基準に変更はありません。

最後に ヘモグロビンA1cの数値を改善するにはどうしたらいいのか？

野菜に含まれる食物繊維は、肥満を防ぐ働きをします。また、甘いものや脂っぽいものは太りやすい食品なので食べ過ぎに気をつけましょう。食事だけでなく、無理のない適度な運動も必要です。外出するとき、少しでも早めに歩いたり、3階までなら階段を使うなど、1日1万歩を目標に歩くのが理想です。ヘモグロビンA1cの数値は、すくには下がらないため、これらを習慣化し、根気よく取り組むことが大切です。



茨城がん学会が 開催されます！



茨城県が主催し、当協会が後援する「第22回茨城がん学会」が、平成25年2月3日(日)午前9時から午後4時30分までの間、茨城県メディカルセンター研修講堂をメイン会場に当協会健康プラザ会議室など4会場で開催されます。

本学会は、県内の医療従事者が一堂に会してがん医療に関する研究成果の発表及び意見交換等を行うことにより、茨城県のがん医療水準の向上及びがん専門医療従事者の育成を図るほか、がん医療に関する正しい知識を県民に普及することを目的に茨城県が毎年開催(年一回)しています。当協会も毎年本学会の運営に協力しており、医療関係者だけでなく、一般の方も無料で参加できる学会となっています。

今回は、厚生労働省健康局がん対策・健康増進課企画調整官らによる講演及び統合討論、がん医療に携わる関係者による研究成果の発表、看護師企画によるシンポジウムが行われます。なかでも一般演題では、当協会が設置する細胞検査診断研究委員会(子宮がん)委員である野末彰子氏(筑波メディカルセンター婦人科)と、同じく乳がん検診研究委員会委員の東野英利子氏(筑波メディカルセンター健診科)が日頃の研究成果を発表します。各氏の演題は野末氏が「子宮頸がん検診におけるハイリスクHPV検査併用の意義」、東野氏が「乳がん検診の精度管理」についてです。事前の申込なしでも参加出来ますので、興味のある方は是非会場まで足を運んでみて下さい。



(問い合わせ先)
茨城がん学会実行委員会事務局
(茨城県保健福祉部保健予防課内)
TEL029-301-3224(平日8:30~17:00)

Topics

ひたちなか市 保健推進員の 方々が視察に 来られました！

当協会では各種団体やグループの視察や研修、生徒や学生の体験学習などに利用いただける、施設見学コースや体験セミナーを用意しています。今回は、要望のあったひたちなか市保健推進員の約70名の方々の見学を受け入れましたのでそのときの様子を紹介します。

見学は受け入れ人数が多かったため、11月28日、12月7日の2日間に渡り実施しました。市が用意したバスに乗りしお越しになられた皆様を、まず当協会の会議室に案内して広報用DVDを交えながら事業概要や健診についての説明を行いました。その後、検査室(ロア)へ向かい、細胞検査室や血液検査室など様々な検査室を見学していただきました。普段は目にする事の出来ない作業風景や最新機器の数々に、目を見張りながらも多くの意見や質問をいただき、関心の高さがうかがえました。

当協会では各種団体やグループの視察や研修、生徒や学生の体験学習などに利用いただける、施設見学コースや体験セミナーを用意しています。今回は、要望のあったひたちなか市保健推進員の約70名の方々の見学を受け入れましたのでそのときの様子を紹介します。



顕微鏡で細胞を観察する参加者

募金方法

今年度の運動は12月で終了いたしました。が、募金は年を通して受付しております。お電話をいただければ、手数料が免除になる振込用紙を送付させていただきます。
(問い合わせ先) 総務課
TEL029(24)0011
(内線114)

協力者一覧(平成24年12月現在) ※順不同、敬称略

◆企業・団体	株式会社マカベ 茨城工場(桜川市)
	大山医院(日立市)
	茨城県健康をまもる女性団体連絡会
	同 上 北茨城市会長
	同 上 筑西市会長
	同 上 取手市会長
	同 上 石岡市会長
◆町村	古河市役所健康推進課
	笠岡市役所

今年も、結核や肺がんなど胸の病気をなくすための募金活動である複十字シール運動へ多くの方々にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

結核は現代において未だ油断できず、感染力も強い国内最大の感染症です。この運動は、結核に関する正しい知識を伝え、自分をはじめ家族や地域の人々から国民全員、ひいては世界の人々を結核から守り、健康で幸せな社会をみんなで築こうと願う心から始まりました。どうかこれからも引き続き皆様の温かいご支援ご協力をお願いいたします。

複十字シール運動にご協力ありがとうございました。

各部門紹介

各部門めぐり 第3弾 職域健診課

シリーズで当協会の各部門を紹介しているこのコーナーですが、今回は巡回健診の最前線で活躍する健診部の一つ、「職域健診課」を紹介します。

組織及び人員

職域健診課は、放射線技師5名、臨床検査技師4名、看護師4名の計13名で組織されています。多職種のスタッフを基本的に2チームに編成し、ご要望のあった県内各事業所に健診車で出向いて、毎日巡回健康診断を実施しています。



新デザインの胸部検診車

業務内容

巡回健診は医師と私たちスタッフが、事業所にレントゲンバスや検査機器を持ち込んで行っている健康診断です。県内どこへでも出張して、官公庁、福祉施設及び大学をはじめとする各種学校ならびに企業等へお伺いしています。

最低でも年に1度の頻度で事業所を巡回しますが、大規模事業所になると年間通じて訪問しています。これらの巡回健診の年間実績は、法定項目の定期健康診断や胃がん検診など、併せて延べ約25万件を実施しています。

巡回健診のメリット

巡回健診には非常にメリットがあり、そのため多くの事業所で巡回健診を実施しています。まず最大のメリットは、仕事を休むことなく、職場にいながら業務の合間をぬって健康診断を受けられることにあり、健康診断を最小限とすることが出来ます。病院での健診や人間ドックは意外と時間を要するため、半日から丸1日かかってしまいます。しかし、巡回健診では1時間程度で終わることが可能です。受診の際、職場から離れる時間が大幅に短縮されますので、身近な職場での健診は忙しい方にも好評です。

健診の種類

事業所の健診は、基本的な健康診断を事業主(雇用主)が従業員の健康管理のために行うよう労働安全衛生法で義務づけています。それらは雇入時の健康診断、定期健康診断、特定業務従事者の健康診断及び有害業務の特殊健康診断と多岐にわたります。

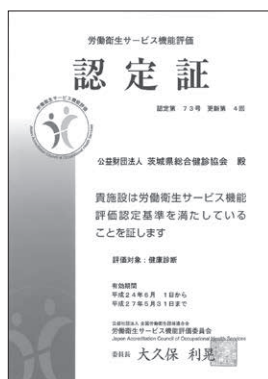
そのほか行政指導による健康診断として、IT(情報技術)社会に伴い、普及するコンピュータを使用する方を対象としたVDT健診など様々な健診を実施しています。

私たちは労働安全衛生法で規定していないその他の検査項目も、事業所の多種多様なニーズに合わせて、様々な検査項目の組み合わせによるオーダーメイドの健診も行っています。

評価認定

事業所では各種法令を守るだけでなく、安全配慮義務や社会的責任を果たすことが求められています。そのような厳しい環境にある事業所の期待にこたえるため、私たちも同様に法令順守はもちろん、品質管理のため内部評価を行い、第三者による各種外部評価を受けています。特に事業所健診では、信頼できる健診機関としての証に、全国労働衛生団体連合会が行う労働衛生サービスマシナリー事業に参加しています。認定を受けるには厳格な審査にパスしなければならず、健診機関としての運営管理から設備機器、スタッフ

体制、健診技術、データ管理、各種規程などの整備状況等の健診機能を総合的に評価してもらっています。当協会は日常業務における日々の努力が実り、優良な健診施設として認定を受けるに至っています。



確かな技術取得のために

スタッフ一人ひとりが専門職としての誇りを持ち、チームの1員として品質の高い健診を受診者の皆さまに提供するため、当協会の本部や全国労働衛生団体連合会が主催する各種研修会に参加してスキルアップを図っています。また、がん検診においては各種学会、研究会主催の学術集会や講習会に参加し、精度向上に努めることも、学会による認定資格取得のため日々資質の向上と技術の研鑽に努めています。

メッセージ

私たち健診スタッフは、年間を通して毎日のように健診業務を行っています。受診者の方にとっては年に一度の大切な健康診断です。健診の精度はもとより、受診される皆さまに気持ちよく受診していただくよう、スタッフ同、明るい笑顔と確かな技術でお待ちしております。



けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会

〒310-8501 水戸市笠原町489-5
TEL 029-241-0011(代) FAX 029-241-0332

【全国組織】

(公財)結核予防会茨城県支部

(公財)日本対がん協会茨城県支部

(公財)予防医学事業中央会茨城県支部

【施設認定】

労働衛生サービス機能評価機構認定施設

国際品質保証規格ISO9001:2008認証取得

プライバシーマーク認証取得



□県西センター	〒308-0125	筑西市関本分中37-1	TEL 0296-20-3480	FAX 0296-20-3482
□県南センター	〒300-0025	土浦市手野町1-1	TEL 029-830-3355	FAX 029-828-0985
□茨城県立健康プラザ	〒310-0852	水戸市笠原町993-2	TEL 029-243-4171	FAX 029-243-9785

編集後記

季節の移り変わりも早いもので、遠くに見える山々はすっかり雪化粧になってしまいました。先日仕事の帰り道、フロントガラスの向こうに夜空に輝くたくさんの星が・・・そして目の前にはオリオン座が見えたのです。みなさんは最近、星を見えていますか？と、言うより見られなくなったと思いませんか？子供の頃はたくさんの星を観察し、星

座を探したものです。そんな事を思い出し、懐かしい気持ちになった帰り道でした。毎日何気なく通っている景色も移り変わりがあり、ちょっと視線を変えてみると違った風景が見られるかもしれません。みなさんもたまには夜空を見上げてみてはいかがでしょうか。光り輝く美しい星が見られたらラッキー・・・？ (Y.Y)



個人情報保護に関するお知らせ

当協会では、機関紙「けんこうリンク」の発行に関わるみなさまの個人情報を、同紙の送付以外には使用いたしません。次回以降、送付をご希望されない場合は、経営企画室までご連絡くださいますよう、お願いいたします。

「けんこうリンク」情報は

<http://www.ibasouken.org/>